

名寄高新聞

オータムフェスタ特集
北海道名寄高等学校新聞局
2020.11.11
発行責任者 内村太一

オータムフェスタ：選抜リレー・閉祭式

選抜リレー 3Aが快足飛ばし優勝

教員チーム戦では2BがV

10月2日に開催されたオータムフェスタ。最終種目の選抜リレーは陸上グラウンドで行われた。1人100m(グラウンド3分の1周)×18、計1800m(グラウンド6周)で速さを競った。レースは3回に分けて行われ、順位はタイムにより全クラスで競い合った。

第1レースには、1A、2A、3Aの3クラスが出場。第1走者で2A・鈴木結貴君が好スタートでリードし、トップでバトンを繋ぐ。しかし、3A・6人目の石川大将君が快走して2Aを逆転し、1位で3周目に入る。4周目に入り3Aが首位を保つが、2Aと1Aが迫る。4周目終盤ではトップの3Aに2Aが肉薄する接戦となる。しかし、5周目で3Aが快足を飛ばして



優勝した3Aのアンカー樋口天斗君と大喜びの3A生徒たち



第3レースで豪快な走りをみせる3C・榎原耕平君(右端)たち。2Aを引き離し、独走状態に持ち込む。3Aはそのままリードを守り抜き、樋口天斗君がクラスメートの歓声を受けて4分20秒15でゴール。2位は2Aで4分21秒86、3位は1Aで4分26秒62だった。

第2レースには、1C、2B、3Bの3クラスが出場。エース級がそろそろ第1走では、高橋歩希君(2B)と三浦春希君(1C)と秋山沢郎君(3B)が激しい先頭争いを展開。高橋君と三浦君がほぼ同時に、秋山君が僅かに遅れバトンを繋ぐ。2周目に入り、2Bが約10mリードし、それを1Cと3Bが追う。そのままトップを走る2Bは4周目、第10走者の藤原永遠君がバトンを受けると、みるみる差を広げ、その差を約50mとする。さらに2Bは5周目にリードを約100mとし、独走状態となる。2Bはその後独走を保ち、荒屋拓未君が4分21秒86でゴールテープを切った。1Cと3Bは最後まで激しい2位争いを展開し、1Cが4分34秒06で2位、3Bが4分38秒38で3位となった。



教員チーム戦で優勝した2B・荒屋拓未君(左端)と僅差の1B・工藤望充君 自転車を持つのは教員チームの吉田香織先生

第3レースには、1B、2C、3C、3Dの4クラスが出場。スタートで3Cの榎原耕平君が好スタートを切り、トップで後続に繋ぐ。2周目には3C、1B、2C、3Dの順で入り、2周目途中で1Bが3Cを逆転。さらに、1Bは4周目で2位以下を大きく引き離し独走状態となる。5周目には2位以下、3C、3D、2Cの順で突入する。1Bは最後まで独走を守り、アンカー工藤望充君が4分24秒24でゴール。2位以下は激しい混戦となったが、3Cが4分29秒98で2位、2Cが4分31秒46で3位、3Dが4分32秒36で4位だった。

それぞれのレースで優勝した3チームはエキシビジョンで教員チームと対戦。レースはスタートから激しい先頭争いが繰り広げられる。2周目に入る時点で1Bがリードし、それを2B、

(裏面へ続く)

教員、3Aの順で追う。中盤は1Bと教員チームが入れ替わりながら首位を争う。5周目に入ると、2Bと3Aが1Bとの差をぐいぐいと縮めていく。ラストはアンカー3人が白熱の大接戦を展開し、2Bがトップでゴールテープを切った。2位は1B、3位は3Aだった。教員チ

ームは大きく遅れたが、アンカーの吉田香織先生が自転車でゴール。会場には明るい笑い声と拍手が響いた。

総合順位は、優勝3A、2位2B、3位2A、4位1B、5位1A、6位3C、7位2C、8位3D、9位1C、10位3Bだった。

素晴らしい思い出になった 選抜リレー 3Aリーダー 樋口天斗君

1年生や2年生に対しても手を抜くことなく全力で走った。走順で男女を交互にすることで女子を男子がカバーできるように工夫した。

アンカーを任されて、とても緊張したが、バトンをもらったら、1位になることだけ

を考えて、全力で走った。ゴールしたときは、一緒に走ったメンバーが駆け寄って来てくれてとても嬉しかった。

優勝できるとは思っていなかったのですが、結果発表で3Aが呼ばれた時はとても驚いた。素晴らしい思い出となった。



体育館の壁に映したリモートMステを楽しむ名高生
そうで充実している顔を見られてとても満足しています。もう少しでオータムフェスタは終わりますが、来週からまた気持ちを切り替えて充実した学校生活を送りましょう。最後に企画・運営してくれた学友会執行部の皆さんに感謝します。本当にお疲れ様でした」とオータムフェスタを開催できた喜びを語った。

その後、各競技の順位を発表した後、表彰式が行われた。勝ったクラスも負けたクラスも関係なく、誰もが笑顔で表彰式を見つめていた。

表彰式終了後、体育館には3年生だけが残ри、3年生への感謝企画・第1弾を実施。学友会執行部が制作した2本の動画を上映した。1本目は各部活の1・2年生部員たちが工夫を凝らし、3年生に感謝の言葉を送る動画。2本目は各部活の1・2年生部員たちと先生方がV6の「WAになっておどろう」の曲に合わせて、3年生に感謝と激励の踊りを披露するもの。3年たちは、時折笑い声をあげ、楽しそうに動画に集中していた。

動画終了後には3年生への感謝企画・第2弾が行われた。校舎内が消灯され、SEKAI NO OWARIの「スターライトパレード」が流れる中、学友会執行部の先導で3年生が体育館から移動。2年生がサイリウムライトを身に付けて作った幻想的な光の花道を通り、中庭に面した2階廊下の窓の前と2階非常階段に立つ。す

ると、曲が止まり、3階と1階で待機していた1年生が光る風船を空に放ち、感謝の込められた美しい景色を3年生にプレゼントした。そして、2年生がサイリウムライトを振り幻想的雰囲気高める中、全員で校歌を斉唱。優しい余韻が残る中で感謝企画は終了した。

感謝企画後、全校生徒は野球グラウンドに集合。体育館の外壁にリモートMステの動画が流された。トリカゴ終了後に突然出されたリモートMステの指示。嵐の「GUTS!」に合わせて、短時間でクラスごとに振り付けを考え練習し、撮影したダンス。各クラスの工夫を凝らしたダンスをつなぎ合わせて編集した動画に、名高生たちは明るい歓声を上げていた。動画終了後にはサプライズとして花火が打ち上げられた。様々な大きさや色の花火が夜空に咲き、見つめる名高生たちの笑顔を照らした。

コロナ禍で様々な行事や大会が中止になる中、久しぶりに思い切り楽しんだオータムフェスタは、名高生に笑顔と感動を与え幕を閉じた。



サプライズの花火に歓声を上げ喜ぶ名高生たち

閉
祭
式

3年生へ感謝企画

リモートMステと花火に歓声

全競技終了後、夜休憩を挟んで閉祭式が行われた。コロナウイルス対策のため、1・3年生は体育館、2年生は格技場と会場を分け、密集を避けての式となった。

最初に、難波史菜学友会長(3C)が「今日はプチ体育祭やトリカゴを行いました。私は執行部として運営に携わりましたが、皆さんの様子を見て、大変素晴らしいものができたと感じました。どのクラスも競技や応援などでとても良い取り組みをしていたと思います。この後も表彰式などがあるので、最後まで楽しんでください」と笑顔を見せた。

続いて、佐賀聡校長は「今日は天気を心配しましたが、皆さんのオータムフェスタにける思いが伝わり、雨も降らず全てのプログラムを



部活の後輩たちからの感謝動画に集中する3年生

終了できました。本当に嬉しく思います。4月から皆さんの笑顔や生き生きとした表情をなかなか見ることができなかったのですが、今日は楽し